

教材・支援機器活用実践事例

「幼児が自分で考え行動できる環境づくり」

	実施年度	平成 30 年度
授業について	教科名等	廊下を通る時に気をつけること（生活全体の中で）
	単元・題材名	
	授業における教師のねらい	自分たちで考え、行動できるようにする。
	授業における子どもの目標	廊下を通る時の注意点に気づき、行動することができる。
子どもについて	学級・学校・学年	幼稚園
	対象の障がい	園全体
	授業形態	集団
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	・廊下で遊んだり走ったりしてしまい、危険な時がある。その都度、教師が「走りません」などと声をかけていた。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	「廊下の表示」 
	活用のねらい	・廊下を通る時に気をつけることについて、廊下に三角コーンを設置するとともに、視覚情報（文字、イラスト）で伝えるなどして分かりやすい環境を整え、子どもたちが自分で考え行動できるようにする。
授業における支援 ・教材の配慮事項		・「～しません」といった否定的な言葉ではなく、肯定的な言葉で伝えるようにした。 ・子どもたちに見えるように、視線の高さに合わせて作成し、廊下の真ん中に置くようにした。
子どもの変容や評価		・廊下を通るときの注意点が見えることで、子どもたちが気にかけるようになった。 ・自分たちで「歩くんだよね！」などと確認しながら廊下を通る姿が見られるようになった。